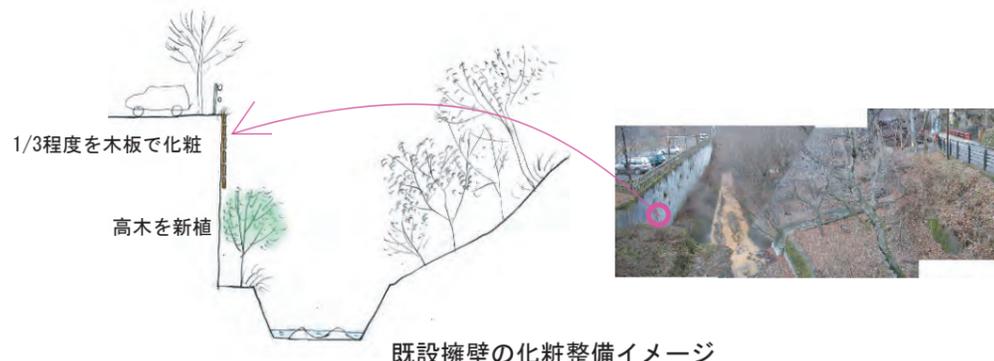


景観整備のポイント

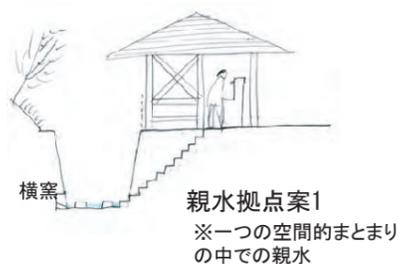
湯沢エリアには林間に遊歩道を通し、散策が楽しめる場所を作る。
温泉公園エリアは湧き出た湯のせせらぎ整備を芯に、自然にゆったりと源泉の湯に親しむ場所としたい。
神社参道は、静かで厳かな雰囲気を作るためにも、要らないものを取り除いたシンプルな空間としたい。



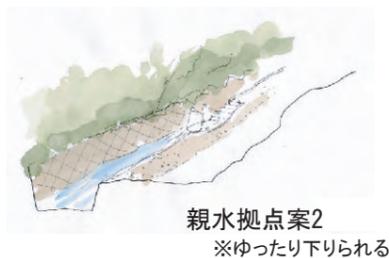
貯水槽設置
新温泉の心臓部であり、
あえて隠さず見せる考え方もある。



既設擁壁の化粧整備イメージ



横窓
親水拠点案1
※一つの空間的まとまり
の中での親水



親水拠点案2
※ゆったり下りられる



※両斜面尻にそれぞれせせらぎがあり
中央を歩く、という形は今も変わらない。

出典：伊香保誌(明治17年)



せせらぎ整備イメージ
自然の土の上を流れ、
石を置く程度で流れをコントロール

湯沢川沿い
エリア

- 湯沢
- 休憩用ベンチ等の配置
- 遊歩道の整備
- 道路脇歩道の整備

- 河鹿橋下
- 貯水槽の設置
200 t / 50 t / 50 t
- 既設擁壁の化粧整備

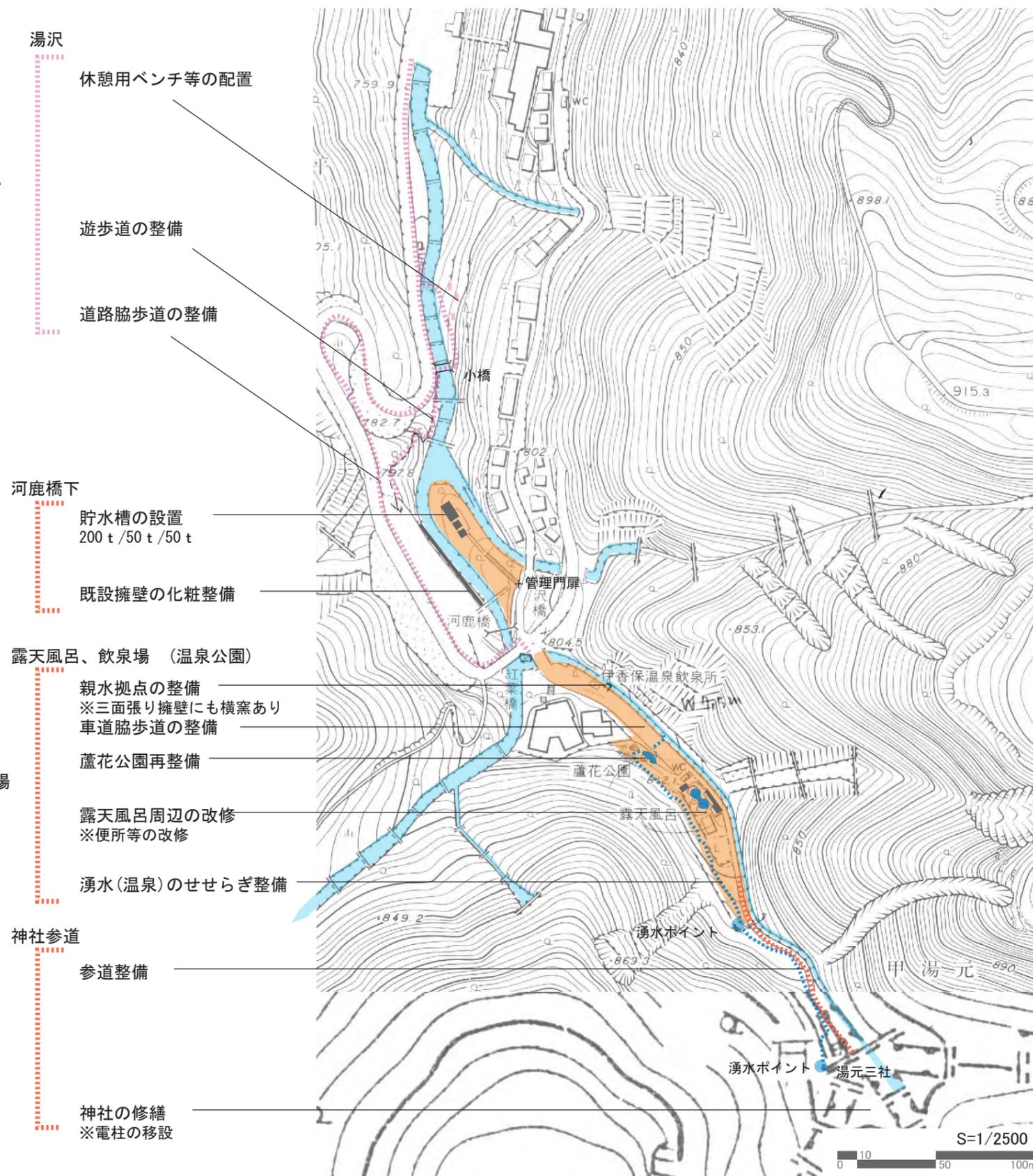
露天風呂、飲泉場 (温泉公園)

- 親水拠点の整備
※三面張り擁壁にも横窓あり
- 車道脇歩道の整備
- 蘆花公園再整備
- 露天風呂周辺の改修
※便所等の改修
- 湧水(温泉)のせせらぎ整備

- 神社参道
- 参道整備

- 神社の修繕
※電柱の移設

湯元源泉広場
エリア



S=1/2500

